

令和元年度
横浜市立高等学校及び併設型中学校

第三者評価結果

横浜市教育委員会

< 目 次 >

I 「横浜市立高等学校及び併設型中学校」の学校評価	1
II 令和元年度第三者評価について	2
1 実施概要	
2 評価者及び訪問調査校	
III 訪問調査校の評価	3
1 南高等学校・南高等学校附属中学校	4
2 東高等学校	11

I 「横浜市立高等学校及び併設型中学校」の学校評価

市立高校及び併設型中学校は、学校評価の基本である全教職員による自己評価と保護者や地域、その他学校関係者等による学校関係者評価を行うとともに、年間2～4校に対し教育活動その他の学校運営について外部の専門家等による第三者評価を行います。

市立高校及び併設型中学校の学校評価は、次の手順で実施します。

1 自己評価

各学校は、校内評価委員会を組織します。校内評価委員会は、教職員による学校評価、生徒による学校評価、授業評価、保護者及び地域による学校評価を組織的にを行い、評価結果の分析により課題を明らかにするとともに、学校関係者評価の結果を踏まえ、重点課題の改善策を中心に「自己評価書」を作成します。

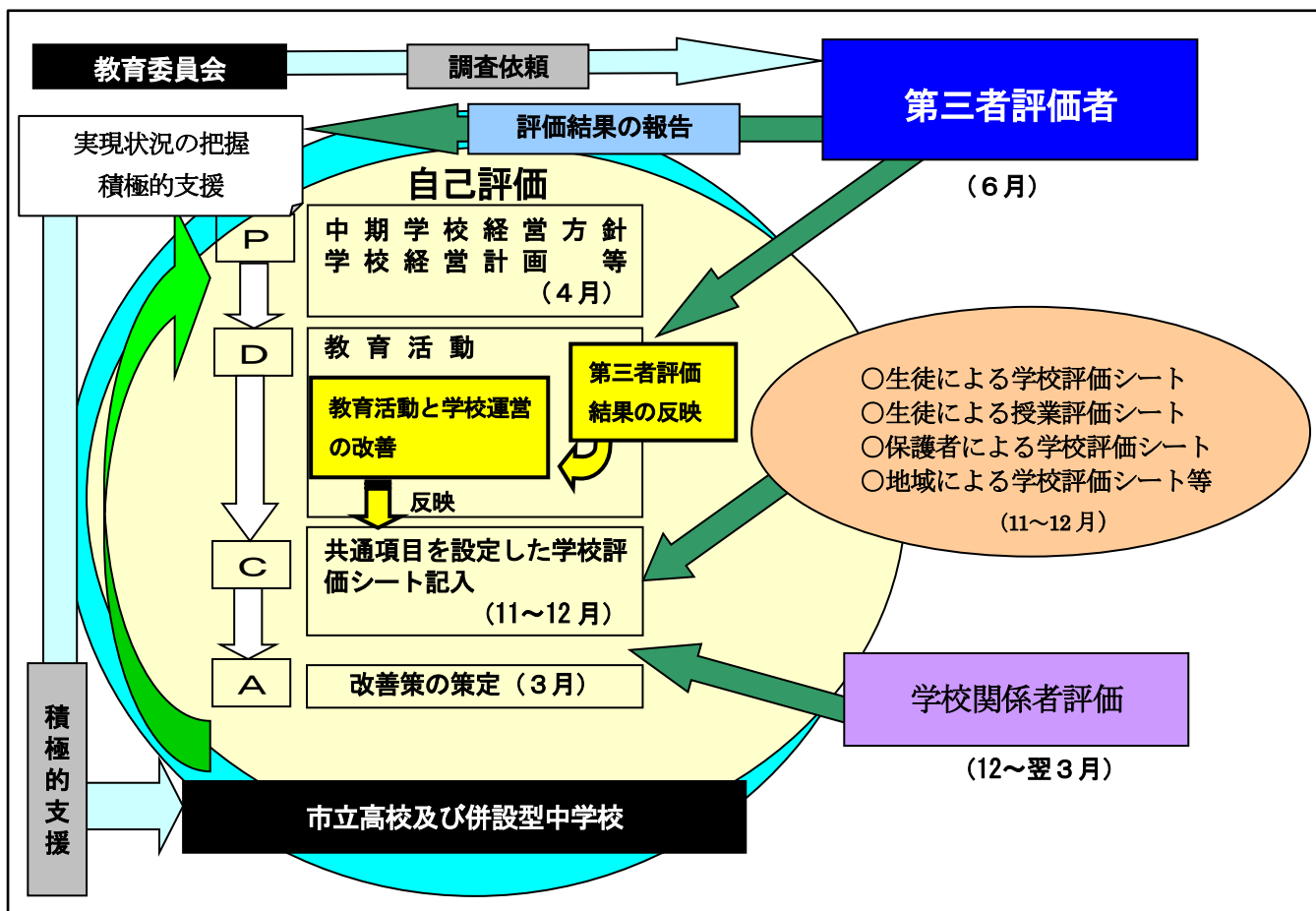
2 学校関係者評価

各学校は、学校関係者評価を実施するため、生徒の保護者や地域、その他学校関係者等によって構成される学校関係者評価委員会を組織します。学校関係者評価委員会は、各学校でまとめた評価の結果等を活用するとともに、授業や学校行事等の教育活動を観察し、「学校関係者評価書」を作成します。

3 第三者評価

教育委員会は、第三者評価を実施するため、学校運営に関する外部の専門家等による評価者（以下「第三者評価者」という。）に調査を依頼します。第三者評価者は、教育活動その他の学校運営について、年間2～4校の訪問調査を行います。調査結果は教育委員会が取りまとめます。

＜市立高校及び併設型中学校 学校評価の体系図＞



Ⅱ 令和元年度第三者評価について

1 実施概要

(1) 実施方法

- ① 1校につき3名の評価者が訪問します。
- ② 評価者は、平成30年度の「自己評価書」「学校関係者評価書」及び平成31年度（令和元年度）「学校経営計画」について主に重点取組項目を中心に校長から説明を受けた後、授業参観、施設・設備の観察、教職員（校長・副校長・教務主任等）及び在校生からのヒアリング等を通して評価します。
- ③ 教育委員会は、評価者からの評価と講評をとりまとめ、第三者評価結果を作成し、公表します。

(2) 訪問調査校及び日程

ア 訪問調査校

南高等学校・南高等学校附属中学校、東高等学校

イ 実施日程

6月11日：南高等学校・南高等学校附属中学校

6月24日：東高等学校

(3) 活用

ア 学校は、評価結果を教育活動及び学校運営の改善に反映させます。

イ 教育委員会は、各学校の教育環境の改善に向けた必要な措置などの施策に生かします。

2 評価者及び訪問調査校（五十音順）

評価者氏名	所属等	訪問調査校
植田 みどり	国立教育政策研究所 総括研究官	東高等学校
笠原 一	横浜市立港南中学校 校長	南高等学校・南高等学校附属中学校
小松 郁夫	国立教育政策研究所 名誉所員	南高等学校・南高等学校附属中学校
坂村 暁	横浜市立市ケ尾中学校 校長	東高等学校
七海 雷児	横浜市PTA連絡協議会 副会長	東高等学校
野中 慎一郎	横浜市PTA連絡協議会 理事	南高等学校・南高等学校附属中学校

※所属等は調査時のものです。

Ⅲ 訪問調査校の評価



南高等学校・南高等学校附属中学校の概要

創 立：昭和 29 年（高等学校）
平成 24 年（附属中学校）
住 所：横浜市港南区東永谷 2 丁目 1 番 1 号
課 程 等：学年制による全日制の課程
普通科
クラス数：高等学校 15 クラス附属中学校 12 クラス
計：27 クラス
生 徒 数：高等学校 579 名、附属中学校 480 名
計 1059 名（平成 31 年 4 月 1 日現在）
学 校 長：三浦 昌彦
校長代理：白田 淳子（附属中学校）



東高等学校の概要

創 立：昭和 38 年
住 所：横浜市鶴見区馬場 3 丁目 5 番 1 号
課 程 等：単位制による全日制の課程
普通科
クラス数：21 クラス
生 徒 数：829 名（平成 31 年 4 月 1 日現在）
学 校 長：小間物 晃弘

横浜市立南高等学校・南高等学校附属中学校

(1) 魅力ある学校づくりの推進状況

《 高等学校 》

観点	評価1	評価2	評価3	評価規準
「次代を担うグローバル人材の育成」のための取組を推進しているか	A	A	A	重点施策の取組が各校の目標以上に進んでいる
	B	B	B	重点施策の取組が各校の目標をほぼ達成している
	C	C	C	重点施策の取組があまり行われていない
「特色ある高校づくり」のための新たな使命達成に向けた取組を推進しているか	A	A	A	重点施策の取組が各校の目標以上に進んでいる
	B	B	B	重点施策の取組が各校の目標をほぼ達成している
	C	C	C	重点施策の取組があまり行われていない
「生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばす教育の充実」のための取組を推進しているか	A	A	A	重点施策の取組が各校の目標以上に進んでいる
	B	B	B	重点施策の取組が各校の目標をほぼ達成している
	C	C	C	重点施策の取組があまり行われていない

《 附属中学校 》

観点	評価1	評価2	評価3	評価規準
「中高一貫教育校の充実」	A	A	A	重点施策の取組が各校の目標以上に進んでいる
	B	B	B	重点施策の取組が各校の目標をほぼ達成している
	C	C	C	重点施策の取組があまり行われていない

【次代を担うグローバル人材の育成】

- 文部科学省から平成 27 年の「スーパーグローバルハイスクール」(以下:SGH) 指定を受け、世界で活躍できるグローバル人材の育成を目指した系統性を十分に踏まえたカリキュラムが作成されている。
- 様々な体験的プログラムが用意され、SGH の目標である世界で活躍できるグローバル人材の育成が実現している。
- グローバル人材の育成については、英会話やその他の学力が必要不可欠と考えられる。しかし、それだけではなく、自ら考え自ら行動する力を育て、探究心をもつ人材を育成することで、コミュニケーション能力、または人間力の向上に力を注いでいる教育が良好な印象となって残った。

【特色ある高校づくり】

- 文部科学省から SGH の指定を受け、総合的な学習の時間（以下：TRY&ACT）における教科横断的な探究学習活動の教育や国内外での研修を進めるなど、活発に独自の教育活動を推進しており、魅力ある高校教育を実践している。
- SGH のメリットを持って余すことなく、グローバルな人材を育成する教育体制とその取組を明確に感じることができた。同時にその取組が南高校の特色として大きく存在しており、南高校の目指す教育が明瞭となっている。
- 中高一貫教育校としてのカリキュラム作り、授業改善、進路指導や生徒指導等の創意工夫も、着実に成果を上げていることがわかる。また、その成果を継承・発展させようとして、いろいろと研修を工夫するなどの経営努力も確認できた。
- 附属中学校の総合的な学習の時間のプログラムである EGG の内容をうけ、発展的・実践的なプログラムである TRY&ACT が用意されており、系統性を踏まえた教育が展開されていることは素晴らしい。

【生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばす教育の充実】

- 国公立大学の進学を意識した教育課程編成と進路指導を掲げている。保護者からの観点からすると、「期待に応えてくれる学校」との安心要素にもなり、保護者も誰もが直感的に理解しやすい目標がグランドデザインに示されている。

【中高一貫教育校の充実】

- 6年間で意識した教育とのアピールが随所に見られる。特に EGG（総合的な学習の時間）の内容が明確となっており、「主体的・対話的で深い学び」が教科等横断的に実施され、確実に生徒の思考力・判断力・表現力を育成している。また、EGG の存在により南高校の TRY&ACT も、より理解しやすい教育構造となっている。
- EGG から TRY&ACT へつながることで、中高一貫教育校のメリットが分かりやすく特色としてしっかりと表れている。
- 中学生だけの活動スペース、高校生だけの活動スペースといった仕切りがなく、中高一貫教育校だからできる共存のメリットを考えて教室配置等をしていることが評価できる。
- 入学を希望する生徒・保護者に対し、学校説明会等は数回にわたり丁寧に実施されている。生徒・保護者の理解が重要となるので、この時間は短縮することなく、引き続き丁寧な説明の実施を期待する。

(2) 教育活動の状況

《 高等学校 》

観点	評価1	評価2	評価3	評価規準
<特別活動等> 生徒は主体的・自立的な活動を行い、学校は活動の活性化に努めているか	A	A	A	生徒会活動への関心が高く、学校内外での活動にも取り組む。勉強や各種活動それぞれに積極的に取り組み両立している
	B	B	B	生徒会活動及び各種活動が学校教育目標の実現に向けて大きな効果があると判断できる
	C	C	C	多くの生徒は生徒会活動及び各種活動に対してあまり意欲的に取り組んでいない
<生徒指導・教育相談> 生徒の生活習慣の確立及び規範意識の形成に向けて取り組んでいるか。個々の生徒について理解を深め信頼関係を作っているか。また、教職員一丸となって取り組んでいるか	A	A	A	すべての教育活動を通じて、豊かな人間関係づくりや生徒の自律を促し、規範意識を醸成する取組が充実している
	B	B	B	人間関係づくり、生活習慣の確立・規範意識等の改善に向けた取組の効果が表れている
	C	C	C	人間関係づくり、生活習慣の確立・規範意識等の改善に向けた取組があまり行われていない
<進路指導> 進路指導が綿密に計画され、生徒の希望進路を叶える取組が行われているか	A	A	A	どの生徒も進路の高い目標を設定し、自ら目標達成に向けた進路計画の立案や実践を行っている
	B	B	B	生徒は学校からの進路情報を十分に理解し、進路実現に向けて前向きに取り組んでいる
	C	C	C	進路指導に対して不安を訴える生徒が大勢いるにもかかわらず、進路指導の改善があまり行われていない

《 附属中学校 》

観点	評価1	評価2	評価3	評価規準
<教科指導> 生徒の学力の実態を把握し、身に付けさせたい学力の定着を図るための適切な指導を行っているか。教員は授業力向上に努めているか	A	A	A	生徒会活動への関心が高く、学校内外での活動にも取り組む。勉強や各種活動それぞれに積極的に取り組み両立している
	B	B	B	生徒会活動及び各種活動が学校教育目標の実現に向けて大きな効果があると判断できる
	C	C	C	多くの生徒は生徒会活動及び各種活動に対してあまり意欲的に取り組んでいない
<生徒指導・教育相談> 生徒の生活習慣の確立及び規範意識の形成に向けて取り組んでいるか。個々の生徒について理解を深め信頼関係を作っているか。また、教職員一丸となって取り組んでいるか	A	A	A	すべての教育活動を通じて、豊かな人間関係づくりや生徒の自律を促し、規範意識を醸成する取組が充実している
	B	B	B	人間関係づくり、生活習慣の確立・規範意識等の改善に向けた取組の効果が表れている
	C	C	C	人間関係づくり、生活習慣の確立・規範意識等の改善に向けた取組があまり行われていない

【特別活動等】

- 海外の研修については、現地の学生とのコミュニケーションをとるプログラムがあることで、とても良い活動だと考える。そのような環境で、「話が通じて良かった（安心）」ではなく、「うまく伝えることができなかった（後悔）」と感じてもらうことで、学習意欲がさらに高まることを期待する。

【進路指導】

- 進路指導について、情報提供を丁寧に細やかに実施されている。
- 偏差値で進学先を決めるのではなく、目標を見つけて進学先を選択するように指導されていることはとても評価できる。また、客観的に自分を見つめ将来設計する必要性を丁寧に伝えていることも良い。
- 進路先の大学が国内全体に広がっている中、校内での情報や資料の整理をじっくりと行いつつ、外部人材の活用、大学や企業などとの連携等、様々な工夫を施して積極的に取り組んでいる。このことから、進路説明会等での指導に対して、生徒と保護者からの満足度も高いものと考えられる。
- 生徒指導や教育相談では、校内の多様な関係者が状況に応じて適切に対応しており、生徒からの信頼度を高めていると受け止められた。

【生徒指導・教育相談】

- アンケートの結果から、教員による丁寧な相談活動が、生徒たちの日頃の生活の安心・安全や適切な進路決定につながっていることが読み取れる。
- 働き方改革などを通して、生徒と向きあえる時間の確保に努めると同時に信頼され、いつでも相談しやすい雰囲気や環境を醸成して欲しいと期待する。
- 学習については、入学時から一貫して生徒の主体性を重んじた取組がなされていることが伺え、「生涯にわたって学び続けようとする態度」が確実に育成されている。
- ハイレベルな授業が中学生から展開されており、学力面では英語、特にヒアリングは、3年間の“アドバンテージ”が大きいと感じた。
- 附属中学校との連携をいっそう強化し、成績不振者への指導助言や青年期のさまざまな悩みなどへの適切な対応等、持続的、発展的に続けてほしいと感じる。
- 中学生も高校生も当たり前にあいさつができています。無理な指導からではなく自然な挨拶ができていたのが印象的である。
- 生徒一人ひとりの成長、自ら考える、自ら発言する、自ら行動することを意識した授業を訪問調査では感じる事ができた。
- 附属中学校において、主体的な委員会活動により、マナー意識の向上が見られた点は大きな成果である。
- SNSを通じた問題の発生などの新しい環境変化への対応についても、多方面との連携を通じて、適切に対応できるように対策を用意して欲しいと期待する。

【教科指導】

- 授業こそが教育活動の中心であるという意識が生徒にも教員にもあり、良い学校風土が作られている。
- 附属中学校における家庭学習を記録する週プランについては、とても有効な取組と考える。自ら目標を立ててその目標に取り組む、小さいことではあるが積み重ねることですっきりとした基礎が養われるので、今後も続けていただきたい。
- 全市立学校のモデルとしての役割も担っていることから、横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領に示す、「見方・考え方」を意識的に組み込んだ教育内容やつながりを大切にされた教育が南高等学校附属中学校ではどのように扱われているのかを示していただけるとありがたい。

(3) 学校経営の状況

《 高等学校 》

観点	評価1	評価2	評価3	評価規準
＜組織運営及び教職員研修＞ 教職員が意欲的に業務に取り組める組織であるか。また、課題解決のための教職員研修が行われているか	A	A	A	情報共有が徹底され、様々な問題に対して迅速に対処している協力関係がある。また、学校は常に教職員の研鑽に努めている
	B	B	B	一人ひとりの教職員は意欲的に業務に取り組んでいる。また、様々な研修によって教職員の力量が向上している
	C	C	C	教職員組織の見直しが滞っている。また、教職員の力量向上のための研修があまり行われていない

《 附属中学校 》

観点	評価1	評価2	評価3	評価規準
＜教育目標等の設定・実施＞ 教育目標が生徒や学校の実態を踏まえた内容であり、目標達成に向けて教職員は意欲的に取り組んでいるか	A	A	A	教育目標が生徒・保護者に理解され、目標達成に向けた効果的な取組による成果が顕著に現れている
	B	B	B	学校は生徒・保護者に教育目標を周知し、教育目標の見直しや改善に意欲的に取り組んでいる
	C	C	C	目標達成に向けた取組があまり行われず、教育目標が生徒・保護者にあまり浸透していない
＜組織運営及び教職員研修＞ 教職員が意欲的に業務に取り組める組織であるか。また、課題解決のための教職員研修が行われているか	A	A	A	情報共有が徹底され、様々な問題に対して迅速に対処している協力関係がある。また、学校は常に教職員の研鑽に努めている
	B	B	B	一人ひとりの教職員は意欲的に業務に取り組んでいる。また、様々な研修によって教職員の力量が向上している
	C	C	C	教職員組織の見直しが滞っている。また、教職員の力量向上のための研修があまり行われていない

【組織運営及び教職員研修】

- 教職員が中高一貫教育校のメリットを理解し、それを生かすために掲げられた学校の基本方針を理解して業務につかれていると感じることができた。一方で、教職員のモチベーションも他校と比較すると高いものが要求されることが懸念され、教職員の負担が大きいことが想定される。このことから、教職員同士の情報共有、管理職と教職員の情報の共有はとても重要となり、意見・要望の聴取の実施もより一層大切になると考えられる。
- 管理職の明確なリーダーシップが感じられ、中高一貫教育校である本校の組織的特性に応じたマネジメントが機能的に運用されている。特に、校長は学校の特色や状況を的確に認識している。不断に組織改革や課題の解決に向けて、迅速に対応しており、職員からの信頼も高いものと感じた。説得や納得の上に、職員が主体的に組織改善に取り組む意欲も感じられ、徐々に成果が表れてきているものと受け止められた。
- 管理職やミドルリーダーの異動があっても、変わることなく発展を遂げられるよう、組織体制の整備とルール化、望ましい組織文化の維持や継承発展を怠らないことを期待する。
- 高校教員による附属中学生への授業が行われていることは、中高一貫教育校だからできることであり、附属中学生にとっては得るものが大きいと感じる。反面、教員側の負担が懸念されることから、業務効率化などで減らすことが出来るものは減らしながら、バランスを考えた実施を期待する。
- 中高の連携では、それぞれの校種にしかない組織について、目標や課題ごとに理解と協働をさらに強力で推進していくべき状況も見られる。研修や協議などを通じて、具体的な方策を編み出したうえで、きめ細やかに推進されることを期待したい。

【教育目標等の設定・実施】

- 教育目標の設定に当たり様々な客観的エビデンスを活用しており、生徒・保護者だけでなく、地域や外部にもゆるぎない学校のスタンスを示すことができている。
- 教員へのヒアリングで感じたが、学校の基本方針を理解して授業を実践されていることを実感した。
- 附属中学校における EGG の活動には、探究・発見といった主体性を伸長する学びがふんだんに盛り込まれている。

（４）いじめに関する項目（いじめへの対応）

- 学校としての課題認識は明確であり、組織的対応をする準備と実践力はしっかりと整備されている。
- 「しっかりとあいさつができている」「授業中にわからない生徒にわかる生徒が教えてあげるなどの行動が自主的にできている」「生徒同士の会話に笑顔が多くみられる」など、他者の気持ちを考えて行動ができる生徒がとても多い。これらの生徒の姿を支援する学校の取組が、いじめを抑制することにつながっていることを感じる事ができた。
- いじめ防止の取組は中学校でしっかりと伝えることがとても重要と考えるが、附属中学校ではそのとおり、教員によるいじめ防止対策委員会や、生徒への教育やアンケートなどを行い、いじめ防止の取組がしっかりとできている。また、アンケートについては情報を収集してデータとして残すだけではなく、アンケートの結果からいじめにつながる芽をみつけて追加のアンケートや臨時教育相談などを実施されていることは大きく評価できる。
- 附属中学校において、生活委員による投げかけなど、生徒が自ら考えていじめ防止に取り組んでいることは価値がある。
- 人権意識の涵養、相手を思いやる心の育成、自他の生命や財産などを大切にし、共生社会を生き抜くにふさわしい資質・能力の育成を6年間の指導を通じて、系統的に貫き通して欲しいと期待する。

(5) 総合所見

- 6年間の一貫した教育目標、育成する資質・能力が明示されており、その実現に向けた意図的・計画的なカリキュラムの編成・実施・評価・改善が行われている。これらの教育が客観的な根拠に基づいて行われ、併せて保護者や地域に明確かつ適切に示されていることから、信頼される教育となっている。
- 正確な現状分析を行うだけでなく、現状に満足せずに、より良い学校を作るための姿勢や意欲を強く感じることができた。学校の自己分析や職員からの声に応えるための検討会など、学校を改善していく活動に取り組んでいることは大いに評価できる。
- 授業改善に関しては、附属中学校と高校が積極的に連携・協働し、実践しており、6年間を見通した指導力、学校力の向上がみられ、今後に関してなお、一層の期待が持てる。
- 生徒のコミュニケーションばかりに目を向けてしまうが、教員のコミュニケーションも同様に重要と考えるが、学校の取組として職員室のワンフロア化は有効な取組である。
- SGH 指定校をはじめとして、十分に期待されたミッション（使命や役割）を果たしつつある。特に SGH の取組を通じて学校の特色が分かりやすくなっており、その取組が文部科学省の指定が終了となっても、持続可能な形での実践を期待したいと思う。
- SGH の指定が終了する来年度以降、どのようにしてその取組の成果を継続させるかについては、教育委員会との具体的な連携を協議することとなり、これまでの成果をまとめる作業が決め手となると考えられる。さまざまな活動や事業などの報告はしっかりとまとめられているので、次の改善につながる「成果と課題」について、更なるデータの収集と、関係者の間での共有を期待する。
- カリキュラム・マネジメントにおいて、高校での先進的な実践が、附属中学校に万全の形で接続しきれていない心配があり、工夫・改善の余地がある。非常に高いレベルではあるが、「他のモデルになる」という使命から期待するものである。

横浜市立東高等学校

(1) 魅力ある学校づくりの推進状況

観点	評価1	評価2	評価3	評価規準
「次代を担うグローバル人材の育成」のための取組を推進しているか	A	A	A	重点施策の取組が各校の目標以上に進んでいる
	B	B	B	重点施策の取組が各校の目標をほぼ達成している
	C	C	C	重点施策の取組があまり行われていない
「特色ある高校づくり」のための新たな使命達成に向けた取組を推進しているか	A	A	A	重点施策の取組が各校の目標以上に進んでいる
	B	B	B	重点施策の取組が各校の目標をほぼ達成している
	C	C	C	重点施策の取組があまり行われていない
「生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばす教育の充実」のための取組を推進しているか	A	A	A	重点施策の取組が各校の目標以上に進んでいる
	B	B	B	重点施策の取組が各校の目標をほぼ達成している
	C	C	C	重点施策の取組があまり行われていない

【次代を担うグローバル人材の育成】

- ユネスコスクールの認定校となり、ESD 推進校として、SDGs の視点を大切に、世界の課題・地域の課題を自分事として捉えさせ、価値観や行動の変容を促す取組を積極的に行っている。
- 入試における英語の重点化により英語に関心のある生徒を集めること、帰国生枠を設けたり、留学生を受け入れたりすることでグローバル化を意識する人材の育成を積極的に図っている。

【特色ある学校づくり】

- ESD 推進校として、ESD と SDGs をつなげた「ESDGs」という理念に基づき、校長のリーダーシップの下で、プロジェクト推進部が中心となって積極的に活動に取り組んでいる。
- 取組においては、これまで同校が「総合的な学習の時間」を「イーストタイム」と位置づけ、国際理解教育と社会貢献活動を推進してきた取組に、課題探究学習活動を新たに加えた三本柱を示し、今年度からは、Global Citizenship Camp、ESD Day などの新しい活動、生徒の ESD 委員会の設置など新たな具体的な活動を加えるなど、活動内容にも発展性がみられる。
- ESD の活動の方向性が明確に示されており、学校内でも共有され始め、教員の中にも自ら考える者も出始めている点は評価できる。具体的な活動についてはまだ緒に就いたところであり、今後の取組の発展及びその成果に期待したい。
- 本格的な活動が始められている 1 年次生がどう変容し、成長を遂げるのかという成果の検証を行い、今後の活動の充実を図ることを期待したい。

【生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばす教育の充実】

- 1・2 年次に共通履修科目を多く配置することで基礎基本を確実に定着させ、生徒本人が自身の特性や興味・関心のある分野を探り、3 年次では選択科目を幅広く配置することで進路選択をサポートするとともに深い学習を支援している。
- 3 年間を通し、スタディーサポート・進路ガイダンス・面談等が計画的に実施されることと「総合的な探究の時間」での学びが融合することで、将来に希望を抱き、安心して未来を創るための学びを深めつつ進路を決めていくことができると思われる。

(2) 教育活動の状況

観点	評価1	評価2	評価3	評価規準
＜教科指導＞ 生徒の学力の実態を把握し、身に付けさせたい学力の定着を図るための適切な指導を行っているか。教員は授業力向上に努めているか	A	A	A	学校の目標達成に向け、教科指導が改善され、授業力が大幅に向上している
	B	B	B	学校の目標達成に向けた教科指導や授業力向上の取組が行われ、授業力が向上している
	C	C	C	複数の教科で教科指導の課題が指摘されているが、授業改善の取組があまり行われていない
＜特別活動等＞ 生徒は主体的・自立的な活動を行い、学校は活動の活性化に努めているか	A	A	A	どの生徒も進路の高い目標を設定し、自ら目標達成に向けた進路計画の立案や実践を行っている
	B	B	B	生徒は学校からの進路情報を十分に理解し、進路実現に向けて前向きに取り組んでいる
	C	C	C	進路指導に対して不安を訴える生徒が大勢いるにもかかわらず、進路指導の改善があまり行われていない

【教科指導】

- 授業ガイドも充実しており、保護者からも肯定的な数字が出ているところからも、教育課程の編成などは十分考慮され、取り組まれている。
- 教員の授業力を向上させるための計画的な授業改善プログラムを実施し、研究授業や協議を通して教科指導力の強化を図っている。一方で、育てる人間像として、主体的な学び、語彙力、コミュニケーション力を掲げているが、授業としては従来型の授業が多かった。新学習指導要領に基づく教育を進めていくためにも、生徒自身が自立的に考え、主体的な学びを実現するような授業方法の研究開発も併せた授業改善を進め、教科指導を進めていくことを期待する。
- ユネスコスクールやESD推進校としての取組が、活動の中心となっており、教科との関係性がまだ明確に具体化されていない点が課題である。ユネスコスクールとして取り組む活動が、行事的なものや活動ベースのものだけでなく、各教科の中に位置付き、また教科の横のつながりを意識した教育活動として充実・発展していくことが期待される。

【特別活動等】

- 部活動の加入率が85%と高く、運動部・文化部ともに充実した活動を行い、高い実績を上げる部活動も多数ある。
- 生徒会組織の中に新たに「ESD委員会」を設けたり、部活動として「サステナブル研究会」を発足させたりするなど、ユネスコスクールの生徒が主体的に持続可能な社会を目指そうとしている姿は頼もしいし、これからは期待できる。
- 生徒会本部役員との会話から、東高校への愛校心をヒアリングした生徒皆さんが持っているということ強く感じた。部活動を楽しみ、行事を楽しみ、クラスを楽しんでいることを笑顔で熱く語る姿は輝いていた。このような生徒が数多くみられるのは教職員も愛校心を持ち、全力で生徒に接していることのあらわれと思われる。
- 社会貢献活動にも生徒が積極的に参加しようとしているのもわかる。学校の働きかけによって、各クラスに募集のチラシが貼られるなど自然に参加しやすくなる支援がある。

(3) 学校経営の状況

観点	評価1	評価2	評価3	評価規準
＜教育目標等の設定・実施＞ 教育目標が生徒や学校の実態を踏まえた内容であり、目標達成に向けて教職員は意欲的に取り組んでいるか	A	A	A	教育目標が生徒・保護者に理解され、目標達成に向けた効果的な取組による成果が顕著に現れている
	B	B	B	学校は生徒・保護者に教育目標を周知し、教育目標の見直しや改善に意欲的に取り組んでいる
	C	C	C	目標達成に向けた取組があまり行われず、教育目標が生徒・保護者にあまり浸透していない
＜組織運営及び教職員研修＞ 教職員が意欲的に業務に取り組める組織であるか。また、課題解決のための教職員研修が行われているか	A	A	A	情報共有が徹底され、様々な問題に対して迅速に対処している協力関係がある。また、学校は常に教職員の研鑽に努めている
	B	B	B	一人ひとりの教職員は意欲的に業務に取り組んでいる。また、様々な研修によって教職員の力量が向上している
	C	C	C	教職員組織の見直しが滞っている。また、教職員の力量向上のための研修があまり行われていない

【教育目標等の設定・実施】

- 教育理念と教育目標について、生徒・保護者・地域住民の理解と協力を得られるようあらゆる機会を通じてわかりやすく発信している。また、ユネスコスクールとしての学校経営方針や指導の重点などについても「学校要覧」「学校案内」に記載し、学校の特色を明確化し、高い志をもつ生徒を集めようとする意欲が感じられる。
- SDGs の取組を単なる在校時の活動で終わらせるのではなく、キャリア教育にもつなげるという視点もある。ユネスコスクールとしての特徴と目指していくものの考え方をうまくまとめた教育目標にできている。

【組織運営及び教職員研修】

- 校長のリーダーシップの下、分掌検討委員会などもあり、教職員の業務分掌など、組織化されている。特にユネスコスクールとしてESDの推進を図るための「プロジェクト推進部」を校務分掌に位置づけるなど前向きな組織運営を行っている。
- 教職員一人ひとりが東高校をさらに良い学校にする意識と意欲を持つよう管理職がリーダーシップを発揮し、教員自身が主体的に改革に取り組む体制を整備している。その組織の今後の活動に期待したい。
- 年次研修や授業改善プログラムによる研究授業を積極的に実施し、教職員の授業力向上と併せて生徒指導力の向上にも努めている。校長のリーダーシップの下、先生方が教科等の枠を越えて、これからの時代を担う生徒の育成に力を注いでいる意欲が感じられる。
- 人材育成の視点も持ちながら、役割及び責任をミドルリーダーにも分配し、組織的に動けるような体制整備を行っていくことが重要である。校長はそのような意識を持っているので、今後はその具体的な取組を実現することを期待したい。
- ESD やユネスコスクールとしての取組に対して、サステイナブル研究会が発足し、生徒自身も主体的に活動に取り組む体制ができていることは評価したい。この研究会が継続的に活動し、生徒自身が考え行動するような取組の実現を期待したい。

(4) いじめに関する項目(いじめへの対応)

- 教員へのいじめの未然防止・早期発見についての設問では、比較的高い評価になっている。
- 生徒間の仲が良く、また教職員に相談してくれる雰囲気がある。ホームルームで良好な人間関係が築けているように感じる。
- 年3回担任と生徒が面談を行うと共に、保健室との連携も機能している。
- ESD の視点を大切に、多様性を尊重し、様々な事象を多面的・多角的にとらえさせ、つながりを大切にする教育を推進しているのので、生徒同士の仲が良い温かな校風となり、「いじめ」が起きにくい環境となっているように感じる。
- 「いじめ」の定義と認知についての研修を深めるとともに、適切に校内委員会が開催されている。

(5) 総合所見

- 横浜市立高校で初めてのユネスコスクールであるが、ユネスコスクールという名称はあまり認知されていないなか、東高校はユネスコスクールとしてのしっかりとしたグランドデザインを作り、広く発信するとともに着実に実践を重ねている。
- 校長のリーダーシップの下で、意欲ある教員が中心となって活動を行い、ESD やユネスコスクールとしての活動が具体的に動き始めている。しかし、これらの活動を持続可能な形で整備し、継続的な取組としていくためには、個々の人に依存するのではなく教員同士がつながり、組織として活動していくことが課題である。この点はまだ緒に就いたところなので、今後の組織的な活動に期待したい。
- ESD を中心に据え、多様な進路希望を叶える教育課程の編成や部活動支援など生徒を全面的にサポートしている東高校の今後が期待できる。
- ESD の活動や教科指導の成果をどのように評価していくのかという視点がまだ十分に整備されていない。ルーブリック等の手法を活用しながら、活動の成果を検証していく仕組みづくりが必要である。当初設定する達成目標や目指す姿がどう実現できているのかということを検証し、成果と課題を明らかにしながら、PDCA のマネジメントサイクルに基づき、改善に継続的に取り組むことを期待したい。



令和元年 10 月発行 横浜市教育委員会事務局学校教育企画部高校教育課
〒231-0017 横浜市中区港町 1-1
電話 045-671-3272 FAX 045-640-1866